**３ＲＣ合同ガバナー公式訪問報告**

開催日令和5年9月19日

西尾ロータリークラブ会長　朝岡　正

場所　西尾コンベンションホール

（西尾ＲＣ）出席者数　５５名

（西尾一色ＲＣ）出席者数　１１名

（西尾ＫＩＲＡＲＡＲＣ）出席者数　３５名

例会前に３ＲＣ会長、幹事と酒井法丈ガバナー、杉浦敏夫地区幹事との懇談の場を設けていただき各ＲＣの運営状況について話し合いました。

西尾ＲＣ朝岡の挨拶のあと、西尾一色ＲＣ鳥居萬里会長の講師紹介で酒井法丈ガバナーに卓話をしていただきました。

酒井法丈ガバナーは会員のみなさんは、自ら従事している職業が所在する地域社会の中で役に立ち、かつ為になるものとなるよう日々研鑽努力している人たちで、ロータリーは交流することでお互い研鑽を行う場として例会を開催されている。だから例会は大事で、皆さんは居心地が良いから会員であり続けられていることをご教授いただきました。

ＤＥＩについて、多様性という価値観はロータリーが始まってからずっと我々の中にありました。今に始まったことではなく、多様性は表層的なものではなく、深層に思い致した対応が重要であること。公平さは、世代やジェンダーを超えた関係性を生み出せるかどうかが鍵となり、インクルージョンは感覚ではなく、四つのテストにある通り、実際の言行に生かすことが望まれているとのことでした。

親睦と奉仕は、ロータリーの両輪のごとく言われますが、実は１つの大きな輪として捉えられており、親睦により自身の成長する機会を得ることができ、奉仕によって心の豊かさを培えることがロータリーの魅力です。よって、プライドは我々ロータリー会員がクラブに対し帰属意識が生まれることにより誇りとなり、ブランドはクラブにおいて自身の居場所があり、居心地がよければクラブに愛着が生まれ、クラブのブランド力が上がるとのことでした。

また、４つのお願いをということで　①ロータリー財団への寄付（目標は１人１５０ドル、ポリオ３０ドル）、②地区大会への参加（１１月１１日・１２日開催/ホストクラブは豊田東ロータリークラブ）、③ＲＦＦ（ロータリー・フード・フェスティバル）への積極的な参加（チケット購入及び企業協賛のご協力、④世界大会でのガバナーナイトへの参加（来年５月２５日、シンガポール）のお願いがありました。

最後に西尾ＫＩＲＡＲＡＲＣ榊原　章会長の謝辞にて有意義な公式訪問は閉会しました。